

資料 9. 若年層対象ワークショップ結果概要

1 目的

一般的な 3 R の取組みや鎌倉市のごみの現状を伝え、若年層がごみの減量に関心を持つにはどうすれば良いか、大学生の視点からのアイデアを抽出する。

2 実施概要

対象：鎌倉女子大学児童学部児童学科 3～4 回生（約 80 名）

日時：平成 26 年（2014 年）12 月 8 日、15 日（2 コマ）

3 プログラム

（1）1 コマ目：情報共有とグループワークのテーマ決め（12/8）

時間	内容
8:40～8:45	1. 開催主旨の説明
8:45～9:15	2. 情報共有（鎌倉市のごみの現状や課題、3 R の取組みについて説明）
9:15～9:25	3. ごみ問題を自分の事として捉える（宿題のごみリストふりかえり）
9:25～9:45	4. 各個人による意見出し（ワークシートに記入） テーマ：ごみ減量に興味・関心を持ってもらうにはどうすれば良いか？
9:45～10:05	5. グループに分かれて意見共有、次回に掘り下げるテーマの選択（以下2つより） テーマ①：ごみに関する情報発信の方法 テーマ②：リユースのしくみをプロデュース
10:05～10:10	6. 次回ワーク及び宿題（アイデア出し、資料収集）の説明、終了

（2）2 コマ目：設定したテーマについてのアイデアまとめ（12/15）

時間	内容
8:40～8:45	1. 前回のふりかえり
8:45～9:00	2. グループワークの進め方（ブレインストーミング、KJ法）説明、 テーマに関する事例紹介
9:00～9:45	3. グループワーク テーマ①：ごみに関する情報発信の方法（グループC, D, E, F, L, M, N） テーマ②：リユースのしくみをプロデュース（グループA, B, G, H, I, J, K）
9:45～10:05	4. 発表（各テーマ2グループずつ）
10:05～10:10	5. まとめ、終了

4 ワークショップから得られた意見（抜粋）

<テーマ① ごみに関する情報発信>

○TV、スマートフォンアプリ等を活用

- ・ L I N Eの公式アカウント
- ・ ツイッター
- ・ F a c e b o o k

○紙媒体を活用

- ・ 各家庭にポスターを配る。
- ・ 駅のホームや車両内に広告を掲示。
- ・ 大人にも子どもにも印象に残るポスターを作る。
- ・ 広報を、イラストやマンガ等、パッと見てわかりやすいものにする。

○キャラクター、芸能人等による情報発信

- ・ ゆるキャラによるPR。
- ・ ごみのアイドルを（月曜日担当とか）設定する！→ごみのイメージアップ！
- ・ ごみ収集所などで働くかっこいい男性が分別のお願いをする。

○ごみステーションでの情報発信

- ・ ごみ捨て場に写真で分別表を貼る。
- ・ ごみ置き場をおしゃれにかわいくする。

○その他

- ・ 母娘で参加できる料理セミナー。
- ・ 食品を余すことなく使用できるレシピ、新鮮な食品の見分け方の紹介。
- ・ 買い過ぎた食品のシェアを行う。
- ・ 学校の授業でごみ問題を取り扱う。
- ・ ごみ処理場やごみ分別所でボランティアやアルバイトをして、体験してもらう。
- ・ 子どもにごみに関する情報を発表してもらう。（子どもが一生懸命話したらみんな聞きそう）
- ・ 萌えアニメ、少女マンガで啓発する。
- ・ 以前、近くのスーパーの所にあき缶を3個ぐらい入れたら、1円が出てくるのが楽しかったので、そういう仕組みにする。
- ・ 分別を頑張ったら、割引券などのちょっとしたプレゼントを渡す。
- ・ 一人でも分別しないとこうなるというデータを知ってもらう。

<テーマ② リユースのしくみをプロデュース>

- ・ 着ることができなくなった洋服をバッグにするなど、自分でリメイクする。
- ・ リユースカイロのように、何度もくり返し使える物を増やす。
- ・ 長く愛される商品開発に努める。
- ・ リサイクルショップの活用。
- ・ 物が壊れても直して使う。
- ・ 壊れたものを買った店で修理。
- ・ 着なくなった服を買った店で引き取れる仕組みにする。
- ・ リサイクルショップでお金にならなくても引き取り、「ご自由にどうぞ」のコーナーを作る。
- ・ 物々交換の広場づくり。
- ・ 学校行事に年に数回のフリーマーケットを設ける。(地域交流にもつながる！)
- ・ マイはし、マイコップを持ってきたら割引きしてもらえる仕組み。
- ・ 月に1回、または年に1回、リサイクルの日を作る！

